

※丸付け・解き直しがしてあるかどうかは、回収時には確認しません。

自分の回答が合っているか確認したい人は、この模範解答を参考にしてください。

2年生 (後半、問題番号が間違っている箇所が多いです。すみません。)

- 1 ボールペンが x 本るとき、鉛筆は $(11 - x)$ 本である。よって

$$200x + 50(11 - x) = 1000$$

$$200x + 550 - 50x = 1000$$

$$150x = 450$$

$$x = 3$$

ボールペンが3本るとき鉛筆は8本である。これらは問題に適している。

(答) ボールペン3本、鉛筆8本

- 2 水を x g とする。

$$5:2 = 600:x$$

$$5x = 1200$$

$$x = 240$$

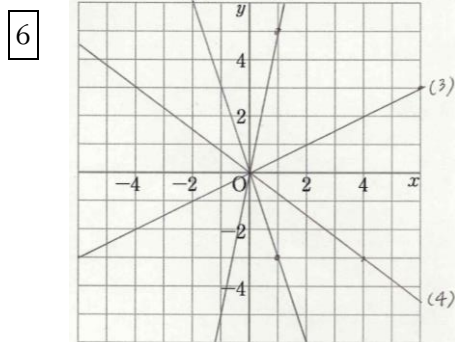
水240gは問題に適している。

(答) 240g

- 3 (1) (左から) 9,6,3,0,-3,-6,-9 (2) 2倍、3倍、4倍される。

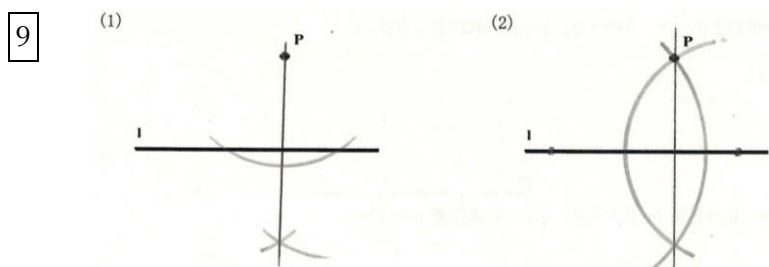
- 4 (1) $y = 3x$ (2) $y = -1$

- 5 (1) $y = -2x$ (2) (左から) 6,2,0,-2,-4,-6 (3) $y = -200$

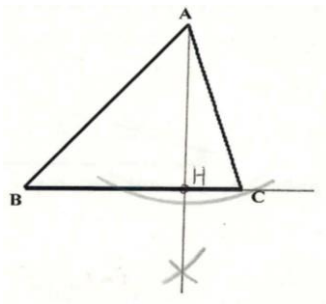


- 7 (1) $y = -3x$ (2) $y = \frac{10}{x}$

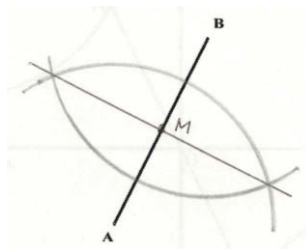
- 8 (1) $y = -\frac{1}{3}x$ (2) $y = -\frac{3}{2}x$ (3) $y = \frac{56}{x}$ (4) $y = -\frac{36}{x}$ (5) ① $y = 2x$ ② $y = \frac{18}{x}$



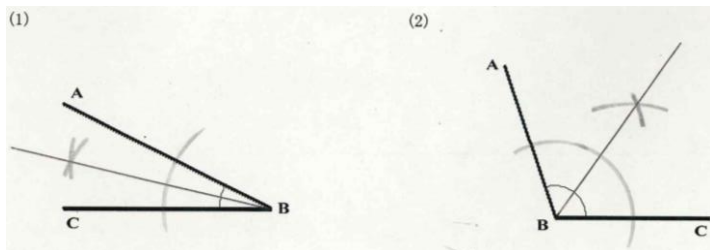
10



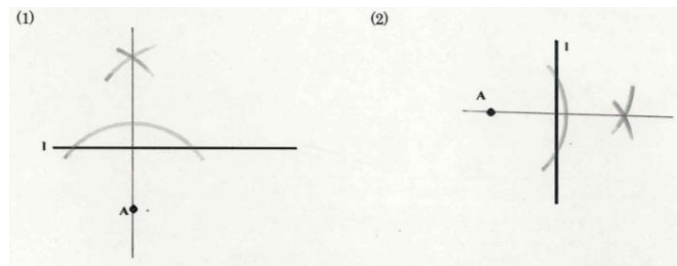
11



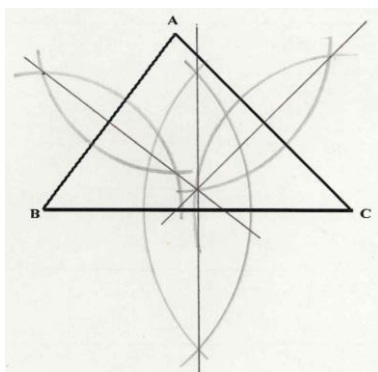
12



13



14



15 ①弧：12 π cm 面積：72 π cm^2 ②弧：2 π cm 面積：12 π cm^2 ③弧：8 π cm 面積：48 π cm^2

16 (1) ア：正四面体 イ：正六面体（立方体） ウ：正八面体 エ：正十二面体 オ：正二十面体

17 (1) 辺 BF, 辺 CG, 辺 DH (2) 面 EFGH, 面 AEHD (3) 辺 AD, 辺 FG, 辺 EF, 辺 CD

18 (1) 12 π cm (2) 270°

19 (1) 972 π cm^3 (2) 324 π cm^2 (3) 体積： $\frac{256}{3}$ π cm^3 表面積：64 π cm^2

(4) 体積： $\frac{250}{3}$ π cm^3 表面積：50 π cm^2

3年生

- 1 (1) 115° (2) 60° (3) 38° (4) 38° (5) 52° (6) 37°
- 2 (1) 100° (2) 40° (3) 49° (4) 110° (5) 110° (6) 35°
(7) 55° (8) 130° (9) 126°
- 3 (1) $x = 110, y = 70$ (2) $x = 60$ (3) $x = 50$
- 4 (1) 仮定: $AB=AD$, $\angle ABC=\angle ADE$ 結論: $BC=DE$
(2) $\triangle ABC$ と $\triangle ADE$ において
仮定より $AB=AD$, $\angle ABC=\angle ADE$
共通な角だから $\angle BAC=\angle DAE$
よって、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから
 $\triangle ABC \equiv \triangle ADE$
したがって $BC=DE$
- 5 (1) 仮定: $AB=CD$, $AB \parallel CD$ 結論: $BC=DA$
(2)
(解1) $\triangle ABC$ と $\triangle CDA$ において
仮定より $AB=CD$, $AB \parallel CD$
平行線の錯角は等しいから $\angle BAC=\angle DCA$
共通な辺だから $AC=CA$
よって、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから
 $\triangle ABC \equiv \triangle CDA$
したがって、 $BC=DA$
(解2) 仮定より $AB=CD$, $AB \parallel CD$
1組の対辺が平行で長さが等しいので
四角形 $ABCD$ は平行四辺形
平行四辺形の対辺は等しいから
 $BC=DA$
- 6 $\triangle AEO$ と $\triangle CFO$ において
仮定より $AE=CF$
平行四辺形の対角線は中点で交わるので $AO=CO$
平行四辺形の定義より $AB \parallel DC$
よって、平行線の錯角は等しいから $\angle EAO=\angle FCO$
2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから
 $\triangle AEO \equiv \triangle CFO$
したがって $OE=OF$
- 7 (1) $\triangle EBC$ (2) $\triangle ECO$
- 8 $\triangle DBE$, $\triangle BFD$, $\triangle AFD$

2・3年生のみなさん、お疲れさまでした！

来週からは、教科書を使って、指定されたワークの範囲を予習として取り組んでみてください。